



# GK情報レポート

【2009年発行】

vol. 19

新年号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

神奈川県相模原市宮下1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

## Contents

1. 『新年のご挨拶』 代表取締役社長 権田源太郎
2. 国際マグネシウム展 in つくば2008
3. 中小企業総合展 2008 in Tokyo
4. 経済産業省本館ロビー展示
5. GKギャラリー：第106回GK会
6. 権田金属の沿革（第17回）『東京営業所の開設』
7. 相場情報『2009年第1四半期見通し』

皆様でご覧下さい。

回 覧 印										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～18）をご用意しております。ご希望の方は当社営業部までお気軽にお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

## 1. 新年のご挨拶

代表取締役社長 権田源太郎

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年は私ども企業にとって大変に厳しい中での幕開けとなりました。昨年の9月に米国で起きた金融危機の影響は瞬く間に世界中に広がり、世界的な景気後退をもたらしました。日本国内の景気も、昨年11月以降は、まさに坂を転げ落ちるような勢いで悪くなってきています。また原油価格の暴落に象徴されるように、商品相場は軒並み最高値から70%以上下落しています。銅相場も例外ではなく昨年のピーク、トン100万円から見て年初は34万円と三分の一の価格まで下がってきています。売上減少と評価損の発生、私どもの業界にとっては大変に厳しい状況です。

今後の見通しは今の時点では分かりませんが、私ども業界の大口お客様である自動車業界、IT産業、建設業界、電機業界などの在庫調整が終わるまでは今のような受注の低迷が続くでしょうし、在庫調整が終わった後も、個人消費や設備投資が増えてこない間は、前年比割れの状況が続くと思われまます。日本経済（GDP）は今年は数パーセントの大幅な落ち込みすらありえると思えます。

しばらくの間は生き残りをかけた辛抱が必要となるでしょう。ただし、将来への投資という点で考えた場合には、今年はまさに絶好のチャンス到来といえると思えます。私どももお役に立てるよう今後とも努力を続けてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

「花の咲かない冬の日も 下へ下へと根を伸ばせ  
やがて芽が出る 花が咲く」

## 2. 国際マグネシウム展 in つくば 2008

開催日 : 2008年11月27日・28日

場 所 : つくばカピオ (茨城県つくば市)

主 催 : 茨城マグネシウム工業会

後 援 : 茨城県、つくば市、財団法人茨城県中小企業振興公社、  
株式会社つくば研究支援センター、日本マグネシウム協会

11月27日・28日の2日間、つくばカピオにて『国際マグネシウム展 in つくば 2008』が開催されました。『国際マグネシウム展』は、初めて行なわれる展示会で、日本国内企業だけでなく、アメリカ、韓国などの海外企業を含め約50社が出展しました。同展示会は、優れたマグネシウム技術を国内のみならず世界にアピールするのが狙いでした。マグネシウムに特化した展示会のために入場者数が550名と少なかったものの、活発な意見交換がなされ、中身の濃いものとなりました。



展示会の開会式

当社ブース前 左：権田専務 右：権田社長

当社はAZ61合金板・AZ61板によるプレス成形サンプル・表面処理サンプルなど独自のマグネシウム技術や製品を展示し、紹介させていただきました。

AZ61は当社で量産開発中の合金で、耐食性、強度に優れるマグネシウム合金です。

当社のブースには、106名の方々に立ち寄って頂きました。国内の研究者や技術者の方々だけではなく、海外のお客様にも当社が量産開発を進めるマグネシウム合金AZ61板の特長を広くPRできたことは大きな収穫でした。

特にAZ61板の表面処理について多くの関心を寄せて頂きました。一般的にマグネシウムは他金属に比べて表面処理が難しいとされていますが、当社製品の表面処理のきれいさを高く評価して頂きました。

今年も『国際マグネシウム展 in つくば 2009』が「つくばカピオ」で開催される予定です。詳細が決まり次第、ご案内させていただきますので是非ともご来場下さい。

記者 マグネシウム部 大野

### 3. 中小企業総合展 2008 in Tokyo

開催日：2008年11月26日から28日

場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

主催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構

共催：経済産業省中小企業庁、関東経済産業局

後援：都道府県等中小企業支援センター、日本商工会議所、全国商工会  
連合会、全国中小企業団体中央会、中小政策金融公庫 他

11月26日から28日の3日間東京ビッグサイトで「中小企業総合展 2008 in Tokyo」が開催されました。当社はマグネシウム AZ61 の板（板厚 0.5mm～3mm）と AZ61 板からのプレスサンプル品、機械加工品を展示しました。



当日は経済産業省大臣政務官 村松祥文様をお迎えし開会式が行われました。

開会に先立ちセレモニーでテープカット（左写真）が行われ、権田社長も参加しました。中小企業総合展は毎年、関東（秋）、関西（春）の2回行われている展示会です。

目的は中小企業の優れた製品、技術、アイデアを紹介し、ビジネスマッチングイベントとして開催されています。

出展する製品・商品は新規性、独創性、市場性などの評価項目で高く評価を受けた企業、中小企業支援施策の認定を受けている、優れた企業など全国から選りすぐられた 530 社（600 ブース）が参加出展しました。

3 日間の入場者 34,744 名 当社ブースに訪れた人 144 名でした。

AZ61 の板（板厚 0.5・1.0・2.0・3.0mm）、プレスサンプル品、鍛造品、メッキをした AZ61 板、カラー見本を展示し、手に取ってご覧頂きました。

圧延板を手に取り、軽さを実感されている方、プレス品（パソコンの筐体）に興味を示す方などマグネシウムの特徴を実感しようとする方が多い様に見受けられました。ブースを訪れた方に声を掛け、後日面談させて頂いた方も多数おります。

面談し図面を前に打ち合わせをしました。加工方法・表面処理などいろいろ検討し現在見積もり中です。テスト的に AZ61 板を購入された企業の方もおられます。

板を加工し、マグネシウムの特徴を見極めたいと希望され、加工方法のアドバイスなど打ち合わせをさせて頂きました。

今後とも展示会には積極的に参加し、マグネシウム AZ61 を皆様に知って頂きたいと思っております。

マグネシウムを知って頂き、良いところを積極的に引き出し軽量化対策、電磁シールド対策にお役に立っていきたいと考えております。

今後ともマグネシウム AZ61 板を宜しくお願い致します。

記者 高安

#### 4. 経済産業省本館ロビー展示

当社は2008年6月経済産業省より「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれました。7月10日パレスホテルで甘利大臣より表彰を受けました。

「モノ作り中小企業300社」に選ばれた企業の展示会は8月東京フォーラム、11月東京ビッグサイトで行われ、ブースには大勢のお客様がお見えになりました。

経済産業省中小企業庁・中小企業基盤整備機構がこの技術、製品を広く紹介するため、経済産業省本館ロビーに展示スペースを作り12月8日から12日まで展示をさせて頂きました。

「元気なモノ作り中小企業300社」は、  
たゆまない創意工夫と勤勉な  
取り組みにより高度なモノ作り技術を確立し、  
我が国の国際競争力と地域経済を支えた  
「モノ作り中小企業」を全国から300社選定し、  
中小企業の活力を高め日本のモノづくりの  
力をさらに伸ばそうとする意図の下で創設されました。

当社が選ばれた理由は、銅リングの量産とマグネシウム合金板の量産開発に意欲的に取り組んでいることが評価されました。

##### ・銅リング

鉄道用モーターや産業用モーターに使用されるエンドリングで、国内トップシェアを誇っています。

鉄道用モーターでは、新幹線から在来線、機関車まであらゆる鉄道に採用されています。

産業用モーターは、鉄鋼メーカーの圧延ラインや自動車の生産ラインで使用されています。

##### ・マグネシウム板

高速の双ロール鋳造法は、当社が独自に開発したマグネシウム合金板の製造技術です。マグネシウム合金 AZ61 材質の板は強度、耐食性、表面処理性に特に優れています。

記者 高安





## 5. GK ギャラリー：第 106 回 GK 会

2008 年 11 月 11 日（火）に相模原ゴルフクラブで、第 106 回 GK 会を行ないました。GK 会は当社のお取り引き様との親睦、情報交換を目的として年 2 回、開催しております。当日はお天気にも恵まれ、参加者の皆様は楽しくプレーされていた様でした。今回は新ハンディキャップ戦で大会を行ない、優勝は片岡金属株式会社の片岡社長でした。片岡社長は『ブリック&ウッドクラブ』所属ハンディキャップ 8.9 で、ベストグロス賞も獲得されました。第二位は当社の権田社長、第三位は泉メタル株式会社の松尾社長という結果でした。次回は 2009 年春に開催する予定です。



中央で帽子を被っているのが片岡社長です

記者 日吉

## 6. 権田金属の沿革

それまで本社に置いてあった営業部を独立させることにし、昭和 48 年 4 月東京都世田谷区桜ヶ丘 4 丁目に東京営業所を開設しました。

取引先からの情報入手のスピードアップと即納体制の在庫管理を徹底させるためのもので、遠戚を通じて土地 400 坪を取得、倉庫、事務所などを建設したもので、これらに約 3 億円を投じ、初代営業所所長に徳武雅英常務取締役を当てました。

昭和 44、45 年の不況を経て昭和 46 年から景気は持ち直してきました。

不況のまっただなかの昭和 45 年 10 月に権田忠志社長は社内報で「厳しい条件下で利益を見つめ、倒産から企業を守れ」という一文を寄せています。

その内容が平成 10 年と良く似た状況でありました。設備投資をやりすぎた中堅企業の倒産が多くなりました。

「東京商工興信所の調べによると、6 月の倒産件数は 807 件、負債総額は 725 億 6400 万円で、件数は前月比 1% 増、金額は 2.5% 増。これを昨年同月比で見ると、件数で 21%

増、負債総額では実に2倍以上の101.4%増である。件数が横ばいの割に負債総額が大きいののは、急成長のあまり、設備投資をやりすぎた中堅企業の倒産が多くなったからだ。つぶれる原因は直接的には金融引締めによるもので、面倒をみてくれていた商社が手を引いたとか、銀行が融資を断ったことによるものが多い。だが倒産原因は長期間、既に企業内に潜んでおり、あぶない経営に火をつけたのが金融引締めである。対米輸出の不振、自動車、鉄鋼の減産をはじめ、売上げ伸び悩みの環境にあって、金づまりが加わっているから、これから倒産も高水準になるだろう。

企業をとりまく環境は流動的だ。技術革新により、生産は洪水のごとくつくりだすが、消費は無限というわけにはいかない。どの業界も販売と生産とのアンバランスに苦しみ、業界再編成が強行されようとしている。

景気の山と谷は自律作用としてあらわれ、その景気調整の転換期に直面する企業は、適応力をテストされることになる。代金回収・原料・仕掛品・商品の在庫コントロール・市場征服の販売など、資金回転率のコントロールの巧拙が業績を左右する。管理力の格差がものをいう。景気が山から谷へ、谷から山へと移行するとき、企業の自力がはっきりと露出してくるのだ。つぶれる原因は急に生まれない。つぶれるとすればどんなことでつぶれるのかマイナス条件を徹底的に分析し、調べあげることが発展の原則である。

利益があれば甘い解釈をして自力で稼いだと錯覚するが、鋭く利益を左右する条件を検討することだ。人件費・研究費・販売促進費・教育費にしても、標準なみに支出して、利益がでているか、きびしい条件のもとに利益を見つめてゆくことが、倒産から守る日常の姿勢である。」

80周年誌「あゆみ」より

## 7. 相場情報

### 1、電気銅建値推移

08,10月・・・730円スタート（10月平均 567.7円）

08,11月・・・460円スタート（11月平均 424.4円）


08,12月・・・400円スタート（12月平均 347.8円）

09,1月・・・340円スタート

### 2、LME在庫状況及び需要状況

LME指定倉庫在庫は110,000t台だった2008年4月以降増加に転じ、同年12月には300,000tを上回り、2009年年初にはさらに350,000tを超えた。

世界的に景気が悪化した事により、銅需要は低迷している。特に今まで銅需要を引っ張って来た中国の景気減速が顕著な様だ。



---

銅の主要な需要分野別には、自動車は金融危機の影響により世界的に販売低迷が続いており、これが更に進む可能性もある。また住宅・建設関連では欧米の減速ペースが加速、エレクトロニクス分野では家電の販売不振、IT 関連投資にも期待が出来ない状況。先行き不透明な景気情勢である事から銅の需要も弱い。

銅の供給面では、銅価下落によりチリでは中小鉱山の約 20%が操業停止に追い込まれたというニュースも入って来ており、また世界最大の民間産銅会社であるフリーポート・マクモラン（米国）が 2008 年 12 月に減産を発表しており、供給側の生産調整を含めた減産傾向は当分の間続きそうな見通し。

2009 年の世界の銅の需給の予測は 2008 年 12 月の時点では、需要が約 1,860 万 t、供給が約 1,900 万 t で 40 万 t の供給過剰とみられている。今後景気の悪化による需要の減少とそれを受けての供給側の減産がどの程度になるかによって、在庫の状況も変わり銅価も大きく影響されると思われる。

### 3、為替の見通し

リーマン・ショックによる米国金融危機が原因の円高ドル安の傾向については、米国各企業の業績悪化発表等で当面の間継続しそう。オバマ米国次期大統領が、年明けの演説で 2 年間で 300 万人の雇用創出を目指す方針や住宅差し押さえ防止等金融改革を表明したものの、目新しい内容に乏しかったとの評価を受けた。大統領就任後の景気対策に注目が集まる一方、米国以外の欧州、アジア各国の経済環境も大きな期待が持てる状況では無い為、ドル安の状態は当面続きそうな雰囲気と言える。

### 4、相場の見通しと予測

LME相場はクリスマス休暇直前の 2008 年 12 月 24 日に \$ 2,770/ t と約 4 年振りの安値を記録。同年 7 月の過去最高値である \$ 8,940 から約 3 分の 1 の水準まで下げた。年初からは \$ 3,000/t 強で推移し \$ 3,500/t を向う状況。相場下落と需要低迷で産銅各社の収益が悪化し大幅な減産傾向となりそうだが当分の間、需要面の期待が持ちづらい状況の為、極端な相場高騰は考えにくい。

短期予測（1 M）：LME \$ 2,800～3,600	為替 88～94 円
銅建値 300～370 円	
長期予測（3 M）：LME \$ 2,500～4,500	為替 85～96 円
銅建値 280～470 円	



